Panasonic®

取扱説明書

コンパクトステレオシステム

品番 SC-HC29



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3 ～ 5 ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

RQT9867-S

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（➜3～5ページ）

準備する

CD・USB

ラジオ

AUX

Bluetooth®

NFC

使いこなす

必要なとき

本機のサポート情報について

ソフトウェアの更新など、最新のサポート情報は、下記のサポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを（⇨ ○○）で示しています。
- 本書では、本体およびリモコンの表示を［○○］で示しています。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）（続き）

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない。
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない。
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠注意

電動スライドドアに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない。

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の通気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやUSBデバイスなどは、保護のため取り外しておいてください。

付属品

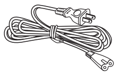
付属品をご確認ください。



□ FM 簡易型アンテナ (1 本)
品番：RSAX0002



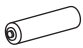
□ AM ループアンテナ (1 本)
品番：N1DYYYY00011



□ 電源コード (1 本)
品番：K2CA2YY00269



□ リモコン (1 個)
品番：N2QAYB000947

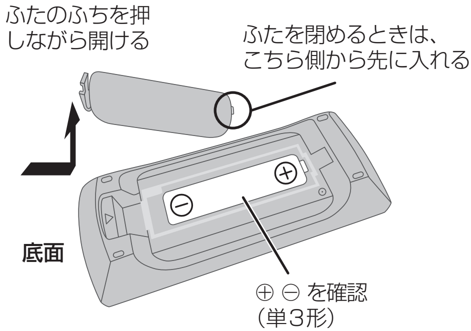


□ リモコン用乾電池
(単 3 形、1 本)

- 付属品の品番は、2014 年 1 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

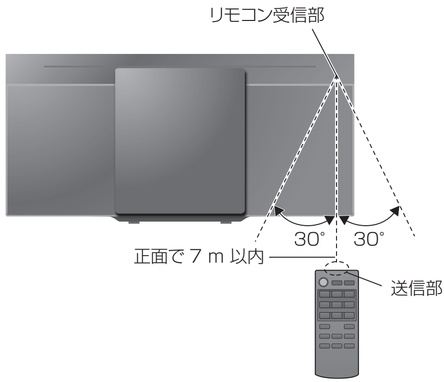
リモコンの準備

■ 乾電池の入れかた



- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

■ リモコンの使用範囲



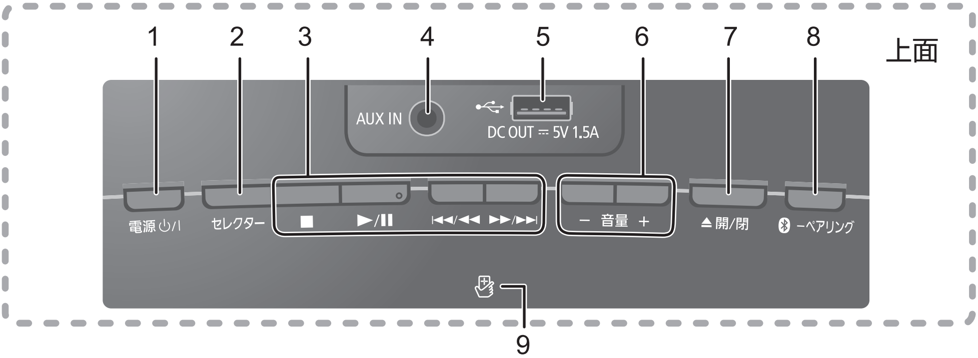
- 距離と角度はおよその数値です。

■ 使用上のお願い

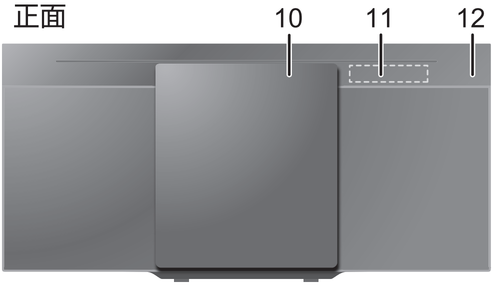
- 本機のリモコン受信部に向けて、まっすぐ操作してください。
- 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。
- 受信部と送信部のほこりに注意してください。

各部の名前と働き

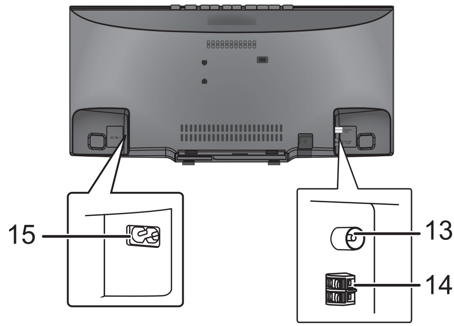
本体



正面



背面



1 [電源 ⏻/I]: 電源を入 / 切する

2 セレクター :
音源を切り換える (⇨ 11, 13, 14, 16, 17)
(押すたびに CD、BLUETOOTH、USB、FM、AM、AUX の順で切り換わります)

3 [■]: 停止する (⇨ 11, 13, 14, 17)
[▶/II]: 再生 / 一時停止する (⇨ 11, 12, 13, 17)
[⏮/◀◀][▶▶/⏭]:
- スキップする (⇨ 11, 13, 17)
- サーチする (⇨ 11, 13, 17)
- ラジオの放送局を選ぶ (⇨ 14, 15)

4 AUX 入力端子 (⇨ 16)

5 USB/DC OUT 端子 (⇨ 13, 16)

6 [−音量 +]:
音量を調節する : 0(最小) ～ 50(最大)

7 [⏏ 開 / 閉]:
CD の電動スライドドアを開閉する (⇨ 11)

8 [– ペアリング]:
- Bluetooth® を音源に選ぶ
- Bluetooth® 機器とペアリングする / 解除する (⇨ 17, 18)

9 [ ]:NFC タッチエリア (⇨ 19)

10 電動スライドドア (⇨ 11)

11 表示部 (⇨ 8)

12 リモコン受信部 (⇨ 6)

13 FM アンテナ端子 (⇨ 9)

14 AM アンテナ端子 (⇨ 9)

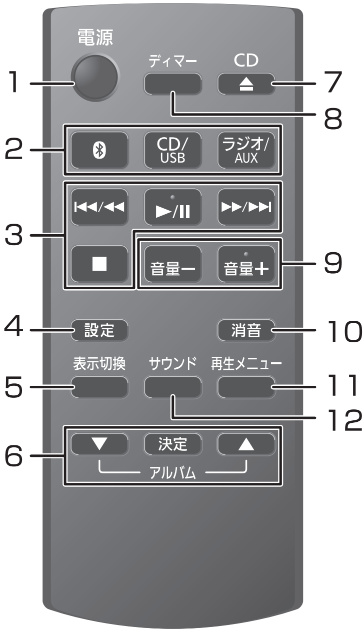
15 AC 入力端子 (⇨ 10)

お知らせ

- 本機で対応している ID3 タグのバージョンは、1.0、1.1、2.3 です。(MP3 形式の曲のみ)
- 本機にはヘッドホン端子はありません。

各部の名前と働き (続き)

リモコン



1 [電源]: 電源を入 / 切する

2 音源を切り換える (⇨ 11, 13, 14, 16, 17)

3 [■]: 停止する (⇨ 11, 13, 14, 17)
[▶/II]: 再生 / 一時停止する (⇨ 11, 12, 13, 17)
[I◀◀/◀◀][▶▶/▶▶I]:
- スキップする (⇨ 11, 13, 17)
- サーチする (⇨ 11, 13, 17)
- ラジオの放送局を選ぶ (⇨ 14, 15)

4 [設定]: 本機を設定する (⇨ 18, 20, 21, 23)

5 [表示切換]: 表示を切り換える

6 [▲][▼][決定]:
メニューや設定画面などで選んで決定する

7 [CD ⏏]:
CD の電動スライドドアを開閉する (⇨ 11)

8 [ディマー] : 表示部を暗くする (⇨ 23)

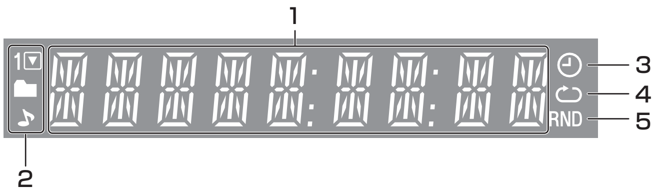
9 [音量−][音量 +]:
音量を調節する : 0(最小) ～ 50(最大)

10 [消音]:
一時的に消音する(消音中は「MUTE」が点滅)
- 解除するには、もう一度 [消音] を押す、音量を調節する、または電源を切 / 入する

11 [再生メニュー]:
- 音源の再生メニュー画面を表示する (⇨ 12)
- ラジオのメニュー画面を表示する (⇨ 14, 15)
- Bluetooth® 機器とペアリングする / 解除する (⇨ 17, 18)

12 [サウンド]:
サウンドメニュー画面を表示する (⇨ 16, 22)

表示部



1 セレクター表示 (CD、BLUETOOTH、USB、FM、AM、AUX) / 設定画面 / 曲情報 / 時計表示など

2 1 曲再生、 1アルバム再生時に点灯 (⇨ 12)

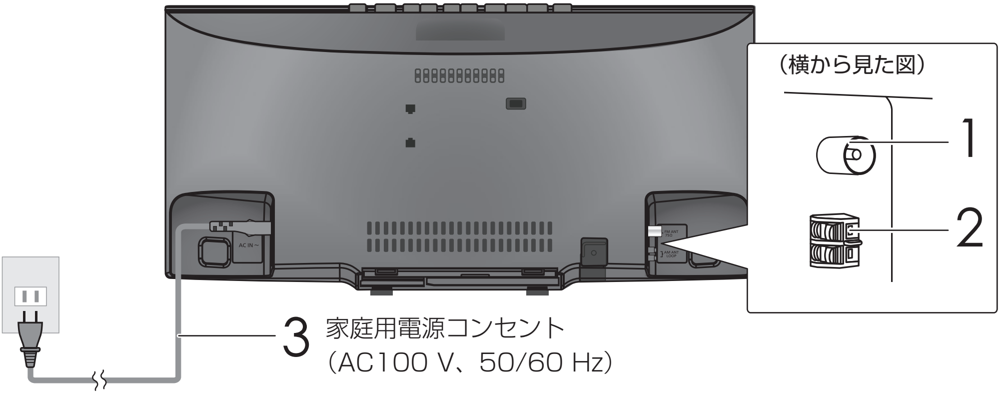
3 おめざめタイマー表示 (⇨ 21)
点灯中 : おめざめタイマー待機中

4 リピート再生時に点灯 (⇨ 12)

5 ランダム再生時に点灯 (⇨ 12)

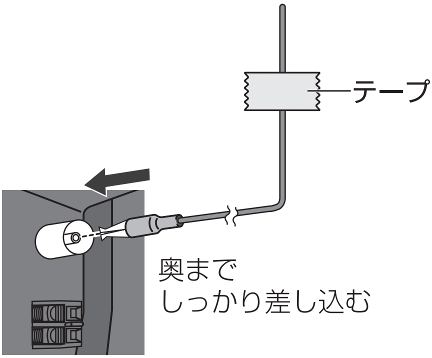
接続のしかたと設置

ラジオをご利用いただくには、FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナの両方の接続が必要です。



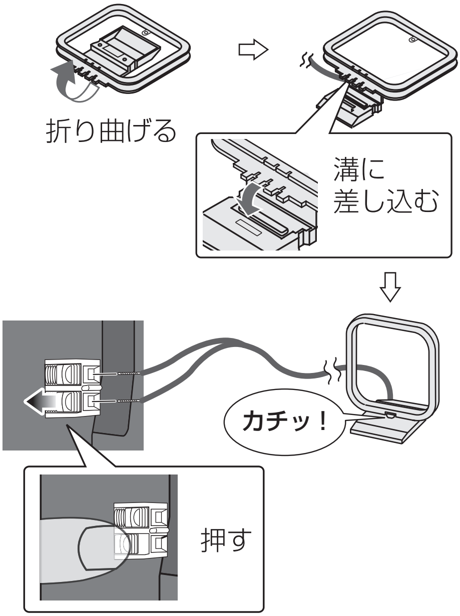
1 FM 簡易型アンテナを接続する

● 手順3のあとラジオの周波数を合わせて（⇨ 14，15）、雑音の少ない位置でアンテナを壁や柱にテープで留めてください。



2 AM ループアンテナを接続する

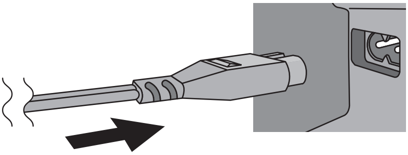
● 手順3のあとラジオの周波数を合わせて（⇨ 14，15）、アンテナを雑音の少ない位置や向きに置いてください。



接続のしかたと設置（続き）

3 電源コードを接続する

最後に接続します。



- 接続後、しばらく待ってから電源を入れてください。

■ 長期間使用しないときは

電源を切った状態でも電力を消費しています。(⇨ 28) 節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。時計を設定してあるときは、再設定が必要になります。(⇨ 20)

お知らせ

- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカーの破損の原因になることがあります）
- スピーカーネットは取り外しができません。
- 本機を移動させるときは、CD および USB デバイスを取り外してから電源を切ってください。

■よりよい音響効果を得るために

音は置きかたによって変わります。

例えば、床の上や部屋の隅に置くと、低音が増します。

下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- 平らで安定した場所に設置する
- スピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
- 左右は壁から離す
- 硬い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて音の反射を少なくする
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

本機のお手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

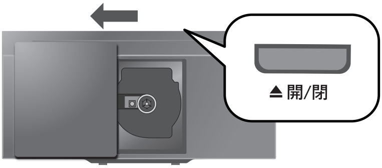
CD を聴く

本機で再生できるディスクについては 24 ページをご覧ください。

■ 本体での操作

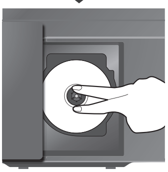
1. [電源 ⏻/|] を押して電源を入れる

2. [≜ 開 / 閉] を押して、電動スライドドアを開ける



3. CD を入れる



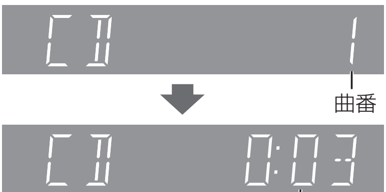


4. [≜ 開 / 閉] を押して、電動スライドドアを閉める

5. [CD/USB] を押して、セレクターを「CD」に切り換える

6. [▶/❚❚] を押す
再生が始まります。

例：CD-DA再生時



■ リモコンでの操作

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/❚❚] を押す ● 再開するには [▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[I◀◀/◀◀][▶▶/▶▶I] を押す
MP3 アルバムを飛ばす（アルバムスキップ）	[▲][▼] を押す
早送り / 早戻し（サーチ）	[I◀◀/◀◀][▶▶/▶▶I] を聴きたい位置まで押したままにする
音量調整	[音量－][音量 +] を押す
曲番や再生残り時間を見る	[表示切換] を数回押す ● 押すたびに内容が切り換わります。（再生中や一時停止中など状態によって異なります）

お知らせ

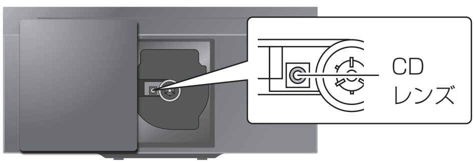
- 曲名などは、英数字（最大 32 文字）のみ正しく表示されます。本機で対応していない文字は、異なる表示になる場合があります。

■ CD を取り出す

① [≜ 開 / 閉] を押して電動スライドドアを開く
② CD を取り出す
- CD がドアに当たらないように取り出してください。

お知らせ

- 電動スライドドアは直接手で開閉しないでください。無理に開閉すると、故障の原因となります。
- 手をはさむおそれがありますので、電動スライドドア付近に手を置かないでください。
- 電動スライドドアを開いたまま長時間放置しないでください。CD レンズの汚れの原因となります。
- CD レンズに触れないでください。



再生範囲を変える / 順不同で聴く（再生モード）

1 [再生メニュー] を数回押して「PLAYMODE」を選ぶ

押すたびに表示が切り換わります。



2 [▲] [▼] を押して再生モードを選び、[決定] を押す

OFF PLAYMODE	通常再生
1-TRACK	1 曲を再生
1-ALBUM（MP3 再生時）	1 アルバムを再生
RANDOM	曲をランダムに再生
1-ALBUM RANDOM（MP3 再生時）	選んだアルバムの曲をランダムに再生

3 [▶/❚❚] を押す

例 :1-TRACK



1 曲再生設定時に点灯

例 :1-ALBUM



1アルバムを再生時に点灯

例：RANDOM



ランダム再生設定時に点灯

例 :1-ALBUM RANDOM



1アルバムの曲をランダム再生設定時に点灯

お知らせ

- ランダム再生中は一度再生した曲へスキップできません。
- 電動スライドドアを開けると、再生モードは解除されます。

繰り返し聴く（リピートプレイ）

再生モードと組み合わせて設定できます。

1 [再生メニュー] を数回押して「REPEAT」を選ぶ

押すたびに表示が切り換わります。



2 [▲] [▼] を押して「ON REPEAT」を選び、[決定] を押す

3 [▶/❚❚] を押す



リピートプレイ設定時に点灯

■ **解除するには**

上記の手順 2 で「OFF REPEAT」を選ぶ

お知らせ

- 電動スライドドアを開けると、リピートプレイは解除されます。

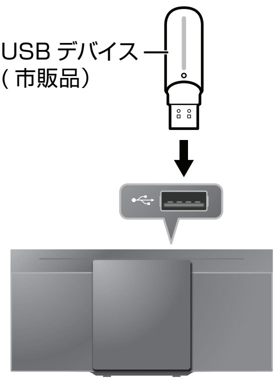
USB デバイスを聴く

本機で再生できるメディアについては 24 ページをご覧ください。

■ 本体での操作

準備する
- USB デバイスを本機に接続する。

1 [CD/USB] を押して「USB」を選ぶ



2 [▶/⏸] を押す

再生が始まります。

例：MP3再生時



■ リモコンでの操作

停止	[■] を押す 「RESUME」が表示され、停止した曲を記憶 ● もう一度 [■] を押して停止させる
一時停止	[▶/⏸] を押す ● 再開するには [▶/⏸] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮/◀◀][▶▶/⏭] を押す
アルバムを選ぶ（アルバムスキップ）	[▲][▼] を押す
早送り / 早戻し（サーチ）	[⏮/◀◀][▶▶/⏭] を聴きたい位置まで押したままにする
音量調整	[音量−][音量 +] を押す
曲番や再生残り時間を見る	[表示切換] を数回押す ● 押すたびに内容が切り換わります。（再生中や一時停止中など状態によって異なります）

- ランダムプレイとリピートプレイの設定は CD と同様の操作でできます。(⇨ 12)

お知らせ

- 接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。
- USB 延長ケーブルは、本機では正しく動作しませんので、使用しないでください。
- USB デバイスは抜き挿しすることで解除されます。
- 曲名などは、英数字（最大 32 文字）のみ正しく表示されます。本機で対応していない文字は、異なる表示になる場合があります。

ラジオを聴く

ラジオをご利用になるためには、付属の FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナの両方を接続してください。**(⇨ 9)**

放送局を記憶させて聴く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聴くことができます。FM/AM 各 15 局まで記憶することができます。

自動で放送局を記憶させる
（オートプリセットメモリー）

自動で各チャンネルに受信できる放送局を割り当てます。

1 **[ラジオ /AUX] を数回押して [FM] または [AM] に切り換える**

2 **[再生メニュー] を数回押して「A.PRESET」を選び、[決定] を押す**

［再生メニュー］を押すたびに表示が切り換わります。



3 **[▲][▼] を押して周波数の割り当て順を選ぶ**

CURRENT:
現在、受信中の周波数から割り当てます。

LOWEST:
一番低い周波数から割り当てます。

4 **[決定] を押す**

周波数が動いて、現在受信できる放送局がチャンネルに記憶されます。

- 途中で止めるときは、[■]（停止）を押してください。

記憶させた放送局を聴く
（プリセットチューニング）

1 **[ラジオ /AUX] を数回押して [FM] または [AM] に切り換える**

2 **[再生メニュー] を数回押して「TUNEMODE」を選び、[決定] を押す**

［再生メニュー］を押すたびに表示が切り換わります。



3 **[▲][▼] を押して「PRESET」を選び、[決定] を押す**

4 **[|◀◀/◀◀][▶▶/▶▶|] を押してチャンネルを選ぶ**

周波数を手動で合わせて聴く

放送局の周波数に手動で合わせて、放送を聴くことができます。（マニュアルチューニング）

1 **[ラジオ /AUX] を数回押して [FM] または [AM] に切り換える**

2 **[再生メニュー] を数回押して「TUNEMODE」を選び、[決定] を押す**

［再生メニュー］を押すたびに表示が切り換わります。



3 **[▲][▼] を押して「MANUAL」を選び、[決定] を押す**

4 **[⏮/◀◀][▶▶/⏭] を短く押して周波数を選ぶ**

■ 自動選局するには（オートチューニング）

上記手順4で周波数が動き始めるまで [⏮/◀◀][▶▶/⏭] を押したままにする（放送を受信すると止まります。）

- 好みの放送局を受信するまで、同じ操作を繰り返します。
- 周囲に妨害電波があると、放送を受信しなくても周波数が止まることがあります。

■ 放送局を記憶させるには（マニュアルメモリー）

「オートプリセットメモリー」(⇨ 14) で記憶させたチャンネルに上書きしたり、FM モノラル受信 (⇨ 下記) で記憶させたりできます。

① 左記手順4で周波数を合わせて、[決定] を押す
② [▲][▼] を押してチャンネルを選び、[決定] を押す

- （プリセットチューニング）(⇨ 14) で、放送局を選べます。

■ FM ステレオ放送で雑音が多いときは（FM モノラル受信）

① FM 受信中に、[再生メニュー] を数回押して「FM MODE」を選び、[決定] を押す
② [▲][▼] を押して「MONO」を選び、[決定] を押す

- ステレオ受信に戻すには、上記手順②で「STEREO」を選ぶか、周波数を切り換えます。
- 設定後、FM 受信中に [表示切換] を押すと、「FM MONO」と表示されます。

■ FM 放送の受信状態を確認するには

FM 放送受信中に、[表示切換] を押すと受信状態が表示されます。

FM ST: ステレオ受信
FM: モノラル受信
FM MONO: モノラル受信 (「FM MODE」で「MONO」選択時)

- 周波数が合っていないときは、受信状態にかかわらず「FM」と表示されます。

■ FM がうまく受信できないときは

山間部や鉄筋ビルの中など、電波が弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をお勧めします。FM 専用アンテナ（市販）やブースター（増幅器・市販）の使用が必要になることがあります。

- 詳しくは、販売店にご相談ください。

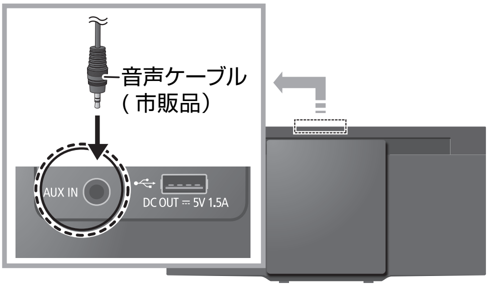
お知らせ

- ステレオ放送を受信すると「STEREO」と表示されます。
- FM ステレオ放送で雑音が多いときは、音質・音場効果 (⇨ 22) を切ることで改善することがあります。

外部機器の音声を本機で聴く

本機の AUX 入力端子と外部機器を音声ケーブル（市販品）で接続して、音声を聴くことができます。

- ステレオミニプラグタイプのケーブルをお使いください。



1 **外部機器を接続する**

2 **[ラジオ /AUX] を押して「AUX」を選ぶ**



3 **接続した外部機器を再生する**

お知らせ

- 詳しくは、接続した機器側の取扱説明書をご覧ください。
- 外部機器および音声ケーブルは別売です。

■ 音量に過不足を感じるときは

入力レベルを変更します。

① [サウンド] を数回押して「INPUT LEVEL」を選ぶ

② [▲][▼] を押して入力レベルを選ぶ

入力レベル		
初期設定 NORMAL：	音量が大きいとき	
HIGH：	音量が小さいとき	

お知らせ

- スピーカーから出る音がひずんだり、ノイズが発生する場合は、「NORMAL」に切り換えると改善されることがあります。
- 入力信号のレベルを下げるには、外部機器のイコライザーを切り替えるか音量を下げてください。入力信号のレベルが高いと、音がひずむことがあります。

■ 充電する

アンドロイドスマートフォンなどの外部機器を USB/DC OUT 端子から本機に接続すると、自動的に充電が始まります。

お知らせ

- ご使用の機器に対応したケーブルが必要です。ご使用の機器にケーブルが付属されている場合は、そのケーブルをお使いください。
- 定格 5 V/1.5 A を超える機器を本機に接続しないでください。故障の原因になります。
- 本機の USB/DC OUT 端子に対応したケーブルを接続しても、ご使用の機器が給電･充電できない場合があります。その場合は、ご使用の機器 に付属の充電器をお使いください。
- 充電完了したかどうかは、接続機器の画面などでご確認ください。充電完了後はケーブルを抜いてください。
- 電源「切」の状態では充電が始まりません。本機の電源を「入」にして、充電が始まったことを確認してから本機の電源を「切」にしてください。
  – 接続機器の電池が切れている状態で充電を行う場合は、機器の電源が入るまで本機の電源を「切」にしないでください。

Bluetooth® を楽しむ

Bluetooth® に対応した機器の音楽などをワイヤレスで楽しむことができます。

- Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の説明書もお読みください。
- NFC（近距離無線通信）対応の Bluetooth® 機器をご使用の場合は、「ワンタッチ (NFC) 接続する」(⇨ 19) をご覧ください。

準備する
- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
- 本機と他の Bluetooth® 機器が接続されている場合、その機器の接続を解除してください。

機器を登録（ペアリング）・接続する

1 [ ] を押して「BLUETOOTH」を選ぶ

- 本機表示部に「PAIRING」と表示された場合 ⇨ 手順 4 へ

2 [再生メニュー] を押して「PAIRING」を選ぶ

- または「PAIRING」が表示されるまで本体の [– ペアリング] を押したままにする ⇨ 手順 4 へ

3 [▲][▼] を押して「OK? YES」を選び、[決定] を押す

- 本機表示部に「PAIRING」と表示されます。
- 取り消すときは、「OK? NO」を選んでください。

4 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、機器名 (SC-HC29) を選んで接続する

- 登録された機器名が本機表示部に数秒間表示されます。

5 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する

お知らせ

- パスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ 4 つ）を入力してください。
- 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、登録の古いものから上書き登録され、以前の登録が取り消されることがあります。この場合、登録をやり直してください。

機器を再生する

1 [ ] を押して「BLUETOOTH」を選ぶ

- 本機表示部に「BLUETOOTH READY」と表示されます。

2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、機器名 (SC-HC29) を選んで接続する

- 登録された機器名が本機表示部に数秒間表示されます。

3 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する

■ リモコンでの操作

停止	[■] を押す
一時停止	[▶/❚❚] を押す ● 再開するには [▶/❚❚] を押してください。
曲を飛ばす（スキップ）	[❙◀◀/◀◀][▶▶/▶▶❙] を押す
早送り / 早戻し（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、[❙◀◀/◀◀][▶▶/▶▶❙] を聴きたい位置まで押したままにする

お知らせ

- [表示切換] を押すと、接続している Bluetooth® 機器の名前や接続プロファイルを見ることができます。
- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。
- 「BLUETOOTH」を選択すると、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとします。
- 本機と Bluetooth® 機器を接続し、本機のリモコンを操作する場合、Bluetooth® 機器が AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) に対応している必要があります。お使いの機器やその状態によっては、操作できない場合があります。

接続を解除する

1 [ ] を押して「BLUETOOTH」を選ぶ

2 [再生メニュー] を数回押して「DISCONNECT?」を選ぶ

3 [▲][▼] を押して「OK? YES」を選び、[決定] を押す

- 本機表示部に「BLUETOOTH READY」と表示されます。
- 取り消すときは、「OK? NO」を選んでください。

お知らせ

- 「PAIRING」が表示されるまで本体の [– ペアリング] を押したままにすることで、接続を解除することもできます。
- 「BLUETOOTH」以外のセレクターが選ばれると、Bluetooth® 機器の接続が解除されます。
- 接続機器側で Bluetooth® 送信を中止しても接続を解除することができます。
- 本機と接続機器が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

Bluetooth® スタンバイを設定する

ペアリング済みの Bluetooth® 機器で、Bluetooth® メニューから本機を選択すると、本機はスタンバイ状態から自動的に起動し、Bluetooth® 接続が確立します。

1 [設定] を数回押して「BLUETOOTH STANDBY」を選ぶ

2 [▲][▼] を押して「ON」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- Bluetooth® スタンバイを解除するには、手順 2 で「OFF」を選択します。

通信モードを切り換える

Bluetooth® の通信モードを切り換えることができます。通信の安定性重視と音質重視があります。

準備する

- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。（⇨ 左記 ）

1 [再生メニュー] を数回押して「LINK MODE」を選ぶ

2 [▲][▼] を押してモードを選び、[決定] を押す

MODE 1： 通信の安定性重視
MODE 2： 音質重視
（お買い上げ時の設定）

お知らせ

- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声が再生されないことがあります。
その場合、本機の通信モードを「通信の安定性重視」に設定することで改善される場合があります。

音量レベルを調整する

本機の音量を大きくしても音量レベルが低いと感じる場合、レベル設定を変更してください。

1 本機と Bluetooth® 機器を接続した後に [再生メニュー] を数回押して「INPUT LEVEL」を選ぶ

2 [▲][▼] を押してレベルを選び、[決定] を押す

例：



- 「0」から「＋ 2」まで調整できます。

お知らせ

- 音が歪んで聞こえる場合は、「LEVEL 0」を選択してください。
- お買い上げ時の設定は「LEVEL 0」です。

ワンタッチ（NFC）接続する

NFC 対応 Android ™ 機器のみ

NFC (近距離無線通信) 機能に対応した Bluetooth® 機器を本機にタッチするだけで、Bluetooth® 機器の登録から接続完了まで一度に行えます。

- バージョンが 4.1 未満の Android 機器をお使いの場合は、Google Play ™ から専用アプリ「Panasonic Music Streaming」（無料）をダウンロードし、アプリを起動してください。

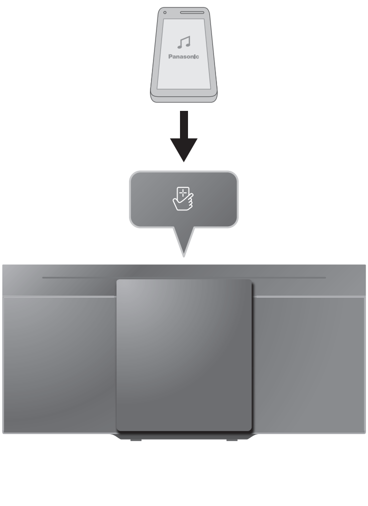
準備する

- Bluetooth® 機器側の NFC 機能を有効にする。

1 [ ] を押して「BLUETOOTH」を選ぶ

2 本機の NFC タッチエリア [ ] に Bluetooth® 機器をタッチする

- 機器が登録され、接続が完了すると、「BLUETOOTH」が本機に数秒間表示されます。機器の登録、接続が終わったら、Bluetooth® 機器を本機から遠ざけてください。
- 「BLUETOOTH READY」が表示される場合は、本機に接続されていません。Bluetooth® 機器の位置を変えてタッチしてください。



3 Bluetooth® 機器側で、音楽を再生する

■ 他の機器と接続するには

別の機器を本機にタッチすると、Bluetooth® 接続が更新されます。

- 接続中の機器は自動的に接続が解除されます。

お知らせ

- ワンタッチ (NFC) 接続は機器によって作動しない場合があります。
- ワンタッチ (NFC) 接続ができない場合は、Bluetooth® 機器の NFC が有効になっているか確認してください。
- Bluetooth® 機器側で動画を再生中に画像と音声がずれる場合、お使いのアプリを再起動してください。それでも解決しない場合、お使いの機器と本機を音声ケーブル（市販品）で接続してください。
- 接続する機器によっては、再生が自動的に始まる場合があります。

時計を合わせる

1 [設定] を数回押して「CLOCK」を選び、[決定] を押す

[設定] を押すたびに表示が切り換わります。



2 時計画面の表示中に [▲] [▼] を押して時計を合わせる

押したままにすることで早く進められます。

3 [決定] を押す

押した時点から、時計がスタートします。

■ 時計を確認するには

[設定] を数回押して「CLOCK」を選び、[決定] を押すと、しばらく時計が表示されます。

- 表示中にもう一度 [決定] を押すと、時計の設定画面になります。
- 電源切時は [表示切換] を押すことで表示できます。

お知らせ

- 電源プラグを抜いたり停電したときは、時計を合わせ直してください。
- 本機の時計は 24 時間表示です。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的な時刻補正をお勧めします。

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

1 [設定] を数回押して「SLEEP」を選び、[決定] を押す

[設定] を押すたびに表示が切り換わります。



2 [▲] [▼] を押してタイマーの時間を選び、[決定] を押す

「30」分↔「60」分↔「90」分↔「120」分

↕「OFF」(タイマー解除)↕

ボタン操作しないと残り時間が表示されます。

お知らせ

- おめざめタイマー (⇨ 21) と組み合わせて使えますが、おやすみタイマーが優先されます。

おめざめタイマー

設定した時刻になると、毎日、電源が入って指定した音源を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

「BLUETOOTH」セレクターのおめざめタイマーはできません。

準備する

- 時計を合わせる (⇨ 20)
- 再生する音源 (CD、ラジオ、USB デバイスなど）を準備する
- （ラジオの場合）FM/AM の放送局をチャンネルに記憶させる (⇨ 14, 15)

タイマーを設定する

1 [設定] を数回押して「TIMER ADJ」を選ぶ

[設定] を押すたびに表示が切り換わります。



2 [▲] [▼] を押して開始時刻を合わせ、[決定] を押す

3 [▲] [▼] を押して終了時刻を合わせ、[決定] を押す

4 [▲] [▼] を押して再生したい音源を選び、[決定] を押す

タイマーを動作させる

1 [音量 －][音量 +] を押して再生したい音量に合わせる

2 [設定] を数回押して「TIMER SET」を選ぶ

[設定] を押すたびに表示が切り換わります。



3 [▲] [▼] を押して「SET」を選び、[決定] を押す

例：　おめざめタイマー設定時に点灯



4 [電源] を押して電源を切る

- 電源を切らないと、タイマーは動作しません。

タイマーを設定すると

設定した時刻になると設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）します。

■ 設定内容を確認するには

[設定] を数回押して「TIMER ADJ」を選び、[決定] を押すと、設定時刻、音源、音量の確認ができます。

- 表示中にもう一度 [決定] を押すと、タイマーの設定画面に切り換わります。
- 電源切時は [表示切換] を 2 回押すことで表示できます。

■ 設定を変更するには

上記の手順 3 で「OFF」を選び、再度タイマーを設定する操作を行ってください。その後、タイマーを動作させる操作を行ってください。

■ 解除するには

上記の手順 3 で「OFF」を選ぶ。

お知らせ

- おめざめタイマー動作設定後にも、通常の再生操作が可能です。再生時に音源や音量を変更しても、タイマー動作時は設定した音源と音量になります。（再生後は必ず電源を切ってください）
- 音源が「CD」または「USB」のときは再生モード、リピートプレイ (⇨ 12) の設定が可能です。
- 音源が「AUX」のときは、外部機器も同じ時刻に動作するように設定してください。(⇨ 16)
- おやすみタイマー (⇨ 20) と組み合わせて使えますが、おやすみタイマーが優先されます。
- タイマー動作時に、音源と音量が表示されます。

音質・音場効果を楽しむ

お好みの音質や音場を設定してお楽しみください。

好みの音質を楽しむ

好みの音質を選ぶことができます。
（EQ：イコライザー）

1 [サウンド] を数回押して「PRESET EQ」を選び、[決定] を押す

[サウンド] を押すたびに表示が切り換わります。



2 [▲] [▼] を押して好みの音質を選び、[決定] を押す

HEAVY: ロックなどパンチを効かせるとき（お買い上げ時の設定）
SOFT: BGM として聴くとき
CLEAR: ジャズなど高音部を鮮明にするとき
VOCAL: ボーカルにつやを出したいとき
FLAT: 効果を使わないとき

低域 / 高域を調整する

バス（低域）とトレブル（高域）のレベル調整ができます。

1 [サウンド] を数回押して「BASS」または「TREBLE」を選び、[決定] を押す

[サウンド] を押すたびに表示が切り換わります。

2 [▲] [▼] を押してレベルを選び、[決定] を押す

例：



- それぞれ「−4」から「+4」まで調整できます。

豊かな低音で聴く

低い周波数の重低音を大きくします。
- お買い上げ時の設定は「ON D.BASS」です。

1 [サウンド] を数回押して「D.BASS」を選び、[決定] を押す

[サウンド] を押すたびに表示が切り換わります。



2 [▲] [▼] を押して項目を選び、[決定] を押す

- 解除するときは「OFF D.BASS」を選択します。

サラウンド効果を楽しむ

音場制御技術により音場を広げます。
- お買い上げ時の設定は「OFF SURROUND」です。

1 [サウンド] を数回押して「SURROUND」を選び、[決定] を押す

[サウンド] を押すたびに表示が切り換わります。



2 [▲] [▼] を押して項目を選び、[決定] を押す

- 有効にするときは「ON SURROUND」を選択します。

お知らせ

- 再生する音源によっては効果が少ないものもあります。
- 再生する音源によっては、意図したとおりの音質・音場効果が得られないことがあります。このようなときは機能を解除してください。

便利な機能

表示部の明るさを変える
（ディマー）

ボタン操作しているときを除いて、表示部が暗くなります。

- お買い上げ時の設定は無効です。

1　**[ディマー] を押して、設定する**
- 解除するときはもう一度押します。

自動的に電源を切る
（オートオフ）

無音の状態が約 20 分以上続き、その間ボタン操作などがなかったときに、自動的に電源が切れます。

- お買い上げ時の設定は「ON」です。

■ **解除するには**

1　**[設定] を数回押して「AUTO OFF」を選び、[決定] を押す**

[設定] を押すたびに表示が切り換わります。



2　**[▲][▼] を押して「OFF」を選び、[決定] を押す**
- 再度、有効にするときは「ON」を選択してください。

お知らせ

- この機能はラジオを選択している場合や Bluetooth® 機器を本機と接続している場合には働きません。
- オートオフ機能は解除しない限り、電源を切／入しても働きます。

ソフトウェアのバージョンを確認する

1　**[設定] を数回押して「SW VER.」を選び、[決定] を押す**

バージョン情報が表示されます。

- 終了するときは再度、[決定] を押してください。

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンを操作すると、本機にも影響してしまうことがあります。
このときは、リモコンモードを変えてください。

- お買い上げ時の設定は「REMOTE 1」です。

本体側を「REMOTE 2」に切り換える

1　**[CD/USB] を押して、セレクターを「CD」に切り換える**

2　**本体の [セレクター] を押しながら、リモコンの [CD/USB] を押したままにする**

「REMOTE 2」と表示されます。



リモコン側を「REMOTE 2」に切り換える

3　**リモコンの [決定] と [CD/USB] を4秒以上押したままにする**

動作を確認してください
リモコンの操作ができれば、正しく設定されています。リモコンが働かないときは、本機表示部に表示されている数字にリモコン側を切り換えてください。
例 :「U30 REM2」と表示された場合
手順 3 を行ってください。

■ **リモコンモードを「REMOTE 1」に戻すには**

① 上記の手順 2 で本体の [セレクター] を押しながら、リモコンの [ ] を押したままにする
- 「REMOTE 1」と表示されます。

② リモコンの [決定] と [ ] を４秒以上押したままにする

使いこなす

対応メディアについて

CD

■ 使用できる CD

- （COMPACT disc DIGITAL AUDIO マーク）マークの付いた CD
- CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW（ファイナライズ※されたもの）
  — 記録状態によっては再生できない場合があります。

※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ 使用できない CD

- ハート型など、特殊形状の CD（故障の原因になります。）

■ 使用を保証していない CD

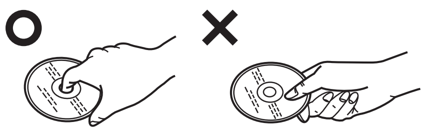
- 違法にコピーしたディスクや規格外ディスク
- DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）

■ 取り扱い上のお願い

CD そのものの破損や、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

— 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
— ディスククリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
— 紙やシール、ラベルを貼らない
— 傷つき防止用のプロテクターなどを使わない
— シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

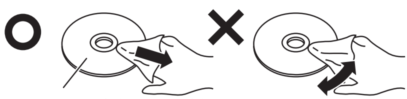
持ちかた



再生面（光っている面）には触れない

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



再生面（光っている面）　内側から外側へ

つゆがついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、つゆがついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

CD を良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々掃除されることをお勧めします。
推奨品 : CD レンズクリーナー（品番 : RP-CL510）

■ 本機で再生できるディスク

市販の音楽 CD（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（MP3）	○

USB デバイス

- すべての USB 機器との接続を保証するわけではありません。
- 本機は FAT12、FAT16 および FAT32 形式でフォーマットされた USB 機器に対応しています。
- 本機はフルスピード USB（USB2.0 準拠）に対応しています。
- 本機では 32 GB までの容量の USB デバイスに対応しています。

MP3 形式のファイル

- 本機は拡張子が「.mp3」、「.MP3」のファイル形式に対応しています。
- 対応ビットレート : 64 kbps ～ 320 kbps（ステレオ）
- ファイルの記録方法によっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。

■ CD-R/CD-RW に記録された MP 3ファイル

- 最大アルバム数 254、トラック数 999 まで再生できます。（ルートフォルダは除く）
- 使用できるフォーマット : ISO9660 level1 および level2（拡張フォーマットを除く）
- 同一ディスクで MP3 と通常の音楽 CD（CDDA）の両方の形式が記録されている場合、本機はディスクの最も深い階層に記録されている形式を再生します。
- パケットライト方式で記録されたファイルは再生できません。

■ USB デバイスに記録された MP 3ファイル

- 最大アルバム数 799、トラック数 8000 まで再生できます。（ルートフォルダは除く）
- マルチポート USB のカードリーダを接続しているときは、1 枚のメモリーカードのみが選択されます。それは、おおむね最初に挿入されたカードとなります。

こんな表示が出たら

表示文字	意味	調べるところ・対策
ADJUST CLOCK	タイマーを動作させるには時計設定が必要です。	時計を合わせてください。(⇨ 20)
ADJUST TIMER	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定していません。	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定してください。(⇨ 21)
AUTO OFF	本機の使用が 20 分間なかったため、オートオフ機能 (⇨ 23) が働き、しばらくして電源が切れます。	中断する場合は、[決定] などを押してください。
ERROR	誤った操作をしています。	操作をやり直してください。
F □□	異常が発生しました。(本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切ります。)	著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。 しばらく待ってから再び電源を入れてください。(保護回路の動作が解除されます。) それでも同じ現象が起こる場合は、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。
ILLEGAL OPEN	電動スライドドアが正常な位置にありません。	● 電源を切ったあと、電源プラグを抜き差しして、再度電源を入れてください。 ● それでも表示される場合は、電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。
NODEVICE	USB デバイスが正しく接続されていません。	USBデバイスを正しく接続してください。(⇨ 13)
NO DISC	CD が入っていません。 または、曲の入っていない CD-R などが入っています。	再生できる CD を入れてください。(⇨ 24)
NO PLAY	再生できない曲です。	(その曲をスキップして再生します。)
	再生できないディスクです。	再生できるディスクに取り換えてください。(⇨ 24)
	USB デバイス内のファイルが再生できないフォーマットです。	「. mp3」、「. MP3」の拡張子のあるものを再生してください。(⇨ 24)
	異常が発生しました。	電源を切ったあと、電源プラグを抜き差しして、再度電源を入れてください。
PLAYERROR	対応していない形式の MP3 ファイルです。	(その曲をスキップして再生します。)
READING	(CD/USB) の情報を読み込んでいます。	[READING] が消えてから操作してください。
U30 REM1 U30 REM2	リモコンモードの設定が本機と合っていません。	● "U30 REM1" が表示される場合、リモコンの [決定] と [ᛒ] を 4 秒以上押したままにしてください。 ● "U30 REM2" が表示される場合、リモコンの [決定] と [CD/USB] を 4 秒以上押したままにしてください。
USB OVER CURRENT ERROR	USB に過大な電流が流れるのを検出しました。	USB を本機から取り外して、接続をやり直してください。
VBR	VBR 再生中は、曲の残り時間が表示されません。	—

故障かな！？

故障かな?と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の温度上昇について
長時間使用すると、本機が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

① 電源プラグを抜く
- 3 分以上たってから手順②を行ってください。

② 本機の [電源 ⏻/I] を押しながら電源プラグを接続する

③ 表示部に「ーーーーーーーー」が表示されるまで、本機の [電源 ⏻/I] を押したままにする
- リモコンモードなどすべての設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。

共通

再生中に「ブーン」という音がする
- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差しかえてみてください。

MP3 ファイルが正しく読み込まれない
- セッション間にデータが存在しないマルチセッションディスクを作成した場合、MP3 ファイルを再生できません。
- マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理が必要です。
- 1セッションあたりのデータ量が小さすぎます。5 MB 以上にしてください。

雑音が多い
- 1 つの機器を AUX 入力端子と USB/DC OUT 端子の両方に接続している場合、機器によっては雑音が発生することがあります。その場合、USB/DC OUT 端子側の接続を外してください。

リモコン

リモコン操作ができない
- 本機の受信部とリモコンの間に障害物がありませんか。(⇨ 6)
- 本機とリモコンのリモコンモードが異なっている場合は、リモコンのリモコンモードを本機と合わせてください。(⇨ 23)

本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する
他の機器のリモコンで本機が誤動作する
- 他の機器が干渉しないように、本機とリモコンのリモコンモードを変更してください。(⇨ 23)

CD

表示部が変わらない
再生が始まらない
- ディスクが傷ついていたり、汚れていたりしませんか。(⇨ 24)
- 寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に「つゆつき」が生じることがあります。故障の原因になりますので、「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間)、電源を切ったまま放置してください。

ラジオ

雑音、ひずみが多く、うまく受信できない
- FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナの両方が接続されていますか。(⇨ 9)
- マニュアルチューニング (⇨ 15) で放送局の周波数に合わせてから、アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。
- アンテナ線を電源コードや他機器の接続ケーブルなどからできるだけ離してください。
- 送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。(⇨ 15)
- テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。

USB

USB デバイスを接続しても認識されない

- ご使用の USB デバイスが他の機器で認識できるかどうか、確認してください。

[▶/⏸] を押しても再生が始まらない

- 本機では、「.mp3」、「.MP3」の拡張子のあるもののみ再生できます。また、容量が 32 GB を超える USB デバイスの動作は保証していません。

操作に時間がかかる

- 容量の大きい USB デバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。

Bluetooth®

Bluetooth® 機器が登録できない

- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。
- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。Bluetooth® 機器を本機に近づけてください。

Bluetooth® 機器と無線接続されない

- Bluetooth® 機器が登録されていないか、Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。(⇨ 17)
- 本機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。

Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない

- お使いの Bluetooth® 機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth® 機器に付属されている説明書などをお読みください。

音が途切れる / 音が飛ぶ / 雑音が多い

- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。本機と Bluetooth® 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth® 機器間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。本機と Bluetooth® 機器を離してお使いください。
- 本機の通信モードを「MODE1」に設定してみてください。(⇨ 18)

ワンタッチ (NFC) 接続ができない

- 本機の電源を入れて、Bluetooth® 機器の NFC 機能を有効にしてください。
- Bluetooth® 機器のタッチ位置を変えて再度、NFC タッチエリアにタッチしてください。

仕様

■ アンプ部

実用最大出力（両 CH 動作）：　20 W（10 W × 2）
8 Ω、1 kHz、全高調波ひずみ率 10 %

■ 端子部

USB 接続端子
　USB インターフェース：　USB 2.0 フルスピード
　再生フォーマット：　MP3（*.mp3）
　ファイルシステム：　FAT12、FAT16、FAT32
　供給電流：　DC OUT 5 V、1.5 A
外部入力端子 (AUX)：　ステレオミニ（∅3.5 mm）

■ FM チューナー部

プリセットメモリー登録数：　15 局
受信周波数帯域：　76.0 MHz ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
アンテナ端子：　75 Ω（不平衡型）

■ AM チューナー部

プリセットメモリー登録数：　15 局
受信周波数帯域：　522 kHz ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

■ CD 部

再生可能ディスク：　8 cm/12 cm
CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット：　CD-DA、MP3（*.mp3）
*MPEG-1 Layer 3, MPEG-2 Layer 3
波長：　790 nm（CD）

■ スピーカー部

フルレンジ：　8 cm × 1/ c h　コーン型
インピーダンス：　8 Ω

■ Bluetooth® 部

バージョン：　Bluetooth® Ver. 2.1 + EDR
送信出力：　Class 2
対応プロファイル：　A2DP、AVRCP
通信方式：　2.4 GHz band FH-SS
見通し通信距離：　約 10 m

■ 総合

電源：　AC100 V、　50/60 Hz
消費電力
　動作時：　13 W
　待機時 ※1、※2：　約 0.08W
　待機時（「BLUETOOTH STANDBY」を「ON」に設定時）※2：　約 0.2W
寸法（幅×高さ×奥行）：
400 mm × 197 mm × 107 mm
質量：　約 1.9 kg
許容動作温度：　0 ℃ ～ +40 ℃
許容相対湿度：　35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

注：

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※1　「BLUETOOTH STANDBY」を「OFF」に設定時
※2　USB/DC OUT 端子に何も接続されていない状態で電源を切った場合

著作権など

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。

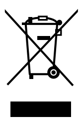
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

(⇒ 26「本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには」)

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

ーこのマークがある場合はー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

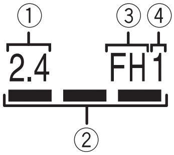
Bluetooth® 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた

周波数表示は認定銘板に記載しています。



① 2.4 GHz 帯を使用
② 2.400 GHz ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用
③ 変調方式が FH-SS 方式
④ 電波与干渉距離 10 m 以下

Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：**パナソニック株式会社**
パナソニック お客様ご相談センター
（⇨ 裏表紙）

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造する。
- 本機底面にある認定銘板を消したり、はがしたりする。

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  - 電子レンジ
  - デジタルコードレス電話機
  - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  - 電波が反射しやすい金属物などの近く
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　）	―	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」（⇨25）、「故障かな！？」（⇨26）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- **製品名** コンパクトステレオシステム
- **品番** SC-HC29
- **故障の状況** できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれいりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
  保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	**診断・修理・調整・点検などの費用**
部品代	**部品および補助材料代**
出張料	**技術者を派遣する費用**

※ 補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、このコンパクトステレオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- **使いかた・お手入れなどのご相談は・・・**

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**（パナは 365日）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- **修理に関するご相談は・・・**

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**（パナは イイヨ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
帯広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
函館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区		
青森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区		
栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼玉	☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東京	☎(03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
山梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区		
滋賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区		
鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区		
福岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区		
沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0513

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/　携帯

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック お客様ご相談センター

電 話　365日 受付9時～20時

フリーダイヤル　パナは　365日

0120-878-365

携帯・PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合　**06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話

フリーダイヤル　パナは　イイヨ

0120-878-554

携帯・PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

Bluetooth®

愛情点検	長年ご使用のコンパクトステレオシステムの点検を!			
	こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社
〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9867-S
L0114MK0